

年間授業計画 様式例

井草 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究演習

教 科： 国語 科 目： 古典演習 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（ A・B群：渡辺 田所 中平 ）

使用教科書：（ 高等学校古典探究（第一学習社） ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 古典探究演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 「1・2年時の文法の復習」 【知識及び技能】 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの模試の復習から課題を学び取り、今後の学習計画をしようとしている。	○教材 ・一人1台端末 ・解釈力の超トレーニング			○	【知識及び技能】 ・助動詞や文語文法に対する知識・理解と敬語表現について深めることができる。大学受験に対応できる実力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、作品の時代背景や人物関係について理解を深め、作品を楽しみながら読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語を読み、編者の考えを整理して内容を解説し、それを題材として考える。	○	○	○	8
	B 単元 「枕草子」 【知識及び技能】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	○指導事項 日記の章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末			○ ○	【知識及び技能】 ・助動詞や文語文法に対する知識・理解と敬語表現について深めることができる。大学受験に対応できる実力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、作品の時代背景や人物関係について理解を深め、作品を楽しみながら読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語を読み、編者の考えを整理して内容を解説し、それを題材として考える。		○	○	8
	C 単元 古文：「更級日記」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた作者の人生観を読み取り、自分のものの見方、考え方を深める。	○指導事項 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人2台端末			○ ○	【知識及び技能】 ・助動詞や文語文法に対する知識・理解と敬語表現について深めることができる。大学受験に対応できる実力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、作品の時代背景や人物関係について理解を深め、作品を楽しみながら読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語を読み、編者の考えを整理して内容を解説し、それを題材として考える。		○	○	8
	定期考査						○	○		1
	D 単元 「源氏物語」（若紫） 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解し、説明できるようにする。	○指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末			○	【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学を読み、作者が抱いた思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。作者の40年間にわたる精神遍歴について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた人生のはかなさをかみしめる作者の諦観について読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	13
	E 単元 「源氏物語」（須磨の秋） 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解し、説明できるようにする。	○指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末			○	【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学を読み、作者が抱いた思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。作者の41年間にわたる精神遍歴について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた人生のはかなさをかみしめる作者の諦観について読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2 学 期	F 単元 助動詞・助詞・敬語の文法の復習 【知識及び技能】 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの模試の復習から課題を学び取り、今後の学習計画をしようとしている。	○教材 ・一人1台端末 ・解釈力の超トレーニング			○	【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語・歌物語の方法を受け継ぎ、壮麗な虚構の世界を築いた物語を読み、人間の実相について考え、読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現や和歌を積極的に理解して、説明しようとしている。		○	○	14
	G 単元 「源氏物語」（明名の姫君の入内） 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解し、説明できるようにする。	○指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末			○	【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語・歌物語の方法を受け継ぎ、壮麗な虚構の世界を築いた物語を読み、人間の実相について考え、読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現や和歌を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	H 単元 「源氏物語」（紫の上の死） 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解し、説明できるようにする。	○指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末			○	【知識及び技能】 ・主として能楽に関する様々な事柄について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして評論をよみ、芸能に関する語句・背景に注意しながら、積極的に筆者の考えを捉えようとしている。	○	○	○	15

	【単元「玉勝間」】 【知識及び技能】 ・『古事記伝』『源氏物語玉の小櫛』などの作品に触れながら、筆者の論理について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本居宣長の主張の中心となる考えについて考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「徒然草」と読み比べ、それぞれ宣長の批評について論じる。 定期考査	○指導事項 ・国学を大成した本居宣長について学び、文学史について学ぶ。 ・『徒然草』の一節を批判する作者の論理を理解し、古文を評価する態度や手法について考えを深める。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末				○【知識及び技能】・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】・時代背景と筆者の主張の中心は何なのか、考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】・「徒然草」と読み比べ、それぞれにの違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。	○	○	○	17	
							○	○		1	
3 学期	大学入試演習問題	○指導事項 ・今までの知識を使って入試問題を解く。 ○教材 ・「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末				○【知識及び技能】・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】・時代背景と筆者の主張の中心は何なのか、考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】・「徒然草」と読み比べ、それぞれにの違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。	○	○	○	23	
											合計
											140